

大学院特別講義のご案内

- ◆日時：2024年4月22日（月）17：00～18：30
- ◆場所：大講義室
- ◆講師：東京歯科大学教授 上田貴之先生
- ◆演題：デジタルデンチャーの術後管理
- ◆要旨：CAD/CAMを応用した有床義歯の製作が一般臨床で利用されるようになってきていることから、義歯装着後のメンテナンスについての研究を進めています。当講座の研究成果を中心に、義歯の衛生管理や修理についての知見を紹介させていただきます。

問い合わせ先：有床義歯補綴学・高齢者歯科学講座（内線2954）

※「口の難病」セミナーも兼ねます

大学院特別講義のご案内

◆日時：2024年7月22日（月）17：30～19：00

◆場所：大講義室

◆講師：大久保力廣 教授（鶴見大学）

◆演題：本学におけるデジタルデンティストリーの現状

• 要旨：これまで歯科治療はアナログ技術を中心に進められてきましたが、世の中のデジタルテクノロジーの進歩に並走し、デジタルエックス線や歯科用コーンビームCTなどの検査機器だけでなく、口腔内スキャナーやCAD/CAMシステムの普及により、デジタルワークフローが導入され、旧来の歯科治療そのものが大きく変化してきています。そこで、本学におけるデジタルデンティストリーの一端をご紹介します。現状における問題点と将来展望について考えてみたいと思います。

問い合わせ先：有床義歯補綴学・高齢者歯科学講座（内線2954）

※「口の難病」セミナーも兼ねます

大学院特別講義のご案内

- ◆日時：2024年10月22日（火）17：30～19：00
- ◆場所：大講義室
- ◆講師：新潟大学教授 堀一浩先生
- ◆演題：「咀嚼の質と量」

◆要旨：

咀嚼運動は、塊状の食物を、口腔内で咀嚼し、嚥下し、消化管に送り込むための重要な機能である。咀嚼の質と量は、口腔機能の低下や嚥下障害、栄養状態の悪化など、高齢者の健康と生活の質に大きく影響を与える。本講義では、咀嚼の「質」としての咀嚼能率評価と、「量」としての咀嚼回数評価について紹介したい。

本講義では、咀嚼の「質」としての咀嚼能率評価と、「量」としての咀嚼回数評価について紹介したい。

問い合わせ先：有床義歯補綴学・高齢者歯科学講座（内線2954）

※「口の難病」セミナーも兼ねます

大学院特別講義のご案内

- 日時： 2025年2月7日（金） 18:00～19:30
- 場所： F棟5階 弓倉記念ホール
- 講師： 東京科学大学 大学院医歯学総合研究科 認知神経生物学分野
教授 上阪 直史 先生
- 演題： 口腔と脳の連関：口腔機能異常が脳機能に及ぼす影響とそのメカニズム
- 要旨： 近年、口腔機能と中枢神経系との相互作用が次第に明らかになり、その研究の発展には口腔科学と神経科学の融合が不可欠となっている。口腔機能の異常が脳の構造や機能に及ぼす影響を解明することで、口腔ケアの重要性の再認識につながるとともに、神経変性疾患や精神疾患の新たな予防・治療戦略の開発につながる可能性がある。本講義では、歯周病、鼻閉塞、軟食のモデルマウスに神経科学の先進的な研究手法を適用し、口腔機能異常が脳に及ぼす影響を多角的に解析した研究を紹介する。

